



2012/8/28(火)・29(水)

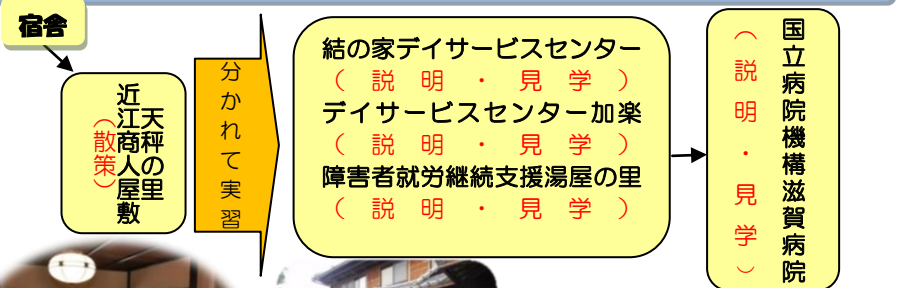
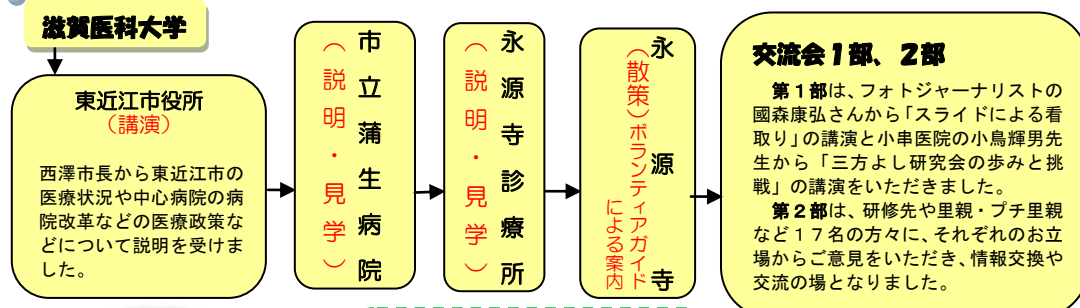
永源寺等東近江方面での宿泊研修に参加しました!

発行日:2012/9/25 発行元:里親学生支援室

「永源寺等東近江方面の医療と歴史・文化を学ぶ」と題し、8月28日(火)～29日(水)の夏季休業期間を利用してNPO法人滋賀医療人育成協力機構と協力して宿泊研修を実施しました。里親登録学生を含めた本学学生12名と自治医科大学の学生2名が参加し、担当教職員を含む総勢23名での研修となりました。

1日目 東近江市の医療政策を含めた地域の特色について学ぶ 市立病院や診療所を訪問 夜は、地域の先生にご講演いただいたり、地域の方々との交流会を実施

2日目 旧五個荘町(近江商人屋敷)を見学 福祉施設や東近江地域の中核病院となりつつある滋賀病院の見学を実施



東近江市役所

東近江市の医療の大規模な再生事業を学びました。病院の経営や滋賀医大との連携、医学生の教育や市民講座など、様々なアプローチから市の医療をより良くしているという熱意と行動力に感銘を受けました。(医学科 2年)

今回の研修旅行先である東近江には私は行ったことがなく、滋賀県の地域医療の現状を知るだけでなく、滋賀県を知るいい機会になりました。特に印象に残ったのは蒲生病院の閉鎖された病室です。今まで、地域では医師不足なのだと言われても、自分の住んでいる場所には病院もたくさんあるので現実味がありませんでした。蒲生病院の見学で地域での医師不足を実感しました。(医学科 1年)

学生の感想文より



永源寺診療所

診療所内を見学後、「在宅医療・地域包括ケア・地域とともに」というテーマで地域医療についてのお話をいただきました。



近江商人屋敷

地域医療の問題などは授業でも講義を受けましたが、実際に自分の目で見て体験してみると考え方や感じ方が全く違うものになります。頭で考えるだけでなく直接接してみることががなよりの学習だとよくわかりました。そうした経験を出来たのはとても幸運で、参加して良かったと本当に思います。(看護学科 1年)



デイサービスセンター加楽

医師不足を抱える地域にも、多くの人が住み、多くの子供がいることを実感し、地域医療を活性化していく必要性を強く感じました。(医学科 1年)



国立病院機構 滋賀病院

院長先生の挨拶の後、病院の概要や再生計画についてのお話や東近江市特有の疾患の発見から論文発表等につながる等のことについて学びました。



交流会第1部・第2部にて

医療施設や介護施設は本来の業務を行うと同時に地域の活性化にも一役買っている東近江市のシステムには、大阪で育った私にとってはとても新鮮で目が鱗が落ちるような思いでした。(医学科 2年)



普段遠い存在である地方自治体の首長、市長さんが自ら私たち学生にお話してくださったことで、私は東近江の医療に対する取り組みの姿勢の真剣さを感じる事ができたと思います。(医学科 1年)

今回の研修の様子
がメディアに取り上げられました!!

中日新聞(医療面)
9月18日(火)



永源寺



蒲生病院

院長先生の挨拶の後、事務長より概要や東近江市の市立2病院の改革について説明がありました。その後、休床中の病棟等、院内見学をしました。